



佳作

霧の
ノイシュバンシュタイン
千葉県・須藤美智恵さん

ロマンチック街道のツアーでのこと。曇天の中、ここでは急に光が射込んで霧が一瞬流れ、純白のペールを背景に輝くノイシュバンシュタイン城が姿を現し思わずシャッターを切りました。息をのむ壮麗さに体が強張りましたが、かえって写真が安定しました。



佳作

ゆりの咲く丘
愛知県・川合繁男さん

花の咲く頃の風景が大好きで、妻と一緒にあちこちらに出かけています。可睡ゆりの園には、今年だけで4回出かけました。斜面に咲く黄色のスカシユリがとてもきれいだったので、斜面の下から少し青空を入れて写真を撮りました。



講評 | たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた応募総数 6710 点の中から大賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 5 点を選考し、受賞作品の講評をいただきました。

クラブツーリズム 旅の思い出 検索



板見 浩史先生

フォトエディターとして多くの写真賞やコンテストの審査員を担当。日本フォトコンテスト協会代表理事。公益社団法人日本写真協会顧問。NPO 法人フォトカルチャー倶楽部理事。



平嶋 彰彦先生

写真家、編集者。元毎日新聞社出版写真部長、ビジュアル編集室長。共著に『昭和二十年東京地図』（筑摩書房）、編著に『宮本常一写真・日記集成』など。

大賞

11・12月
山城深秋

兵庫県/山内 勝さん



板見先生

日本三大山城のひとつ備前中山城の姿を、特徴的な天守と鮮やかな紅葉、そして霧との絶妙なバランスで見事に描写しました。遙かに重なる稜線のリズムも美しく、特に手前の峰が遠近のメリハリを効かせています。城の細部がよくわかる距離感も魅力。中世の日本が現代に蘇ったような幻想的な傑作で、タイトルも格調を高めています。

平嶋先生

秋色に染まる山々を雲海が覆い、その一面に城郭が姿をあらわした瞬間。国の重要文化財に指定された岡山県高梁市の備前中山城ですが、名城と呼ばれるにふさわしい幻想的かつ美しい作品といえます。雲海は、秋から春にかけて、その時々気象条件により発生するとのことですが、その千載一遇のチャンスを見事にものにした撮影技術は感服に値します。

優秀賞

1・2月
新穂高白銀の北アルプス

大阪府/内本 皎一さん



板見先生

レンズ効果による遠近対比が巧みで、広大かつ迫力のある画面を作り上げました。近くの山はより大きく力強く、遠くの山々は遙かな距離を感じさせながらもしっかりと存在感を発揮する。まさにワイドレンズの本領を十二分に発揮して、清々しい穂高岳と北アルプスの魅力を伝えました。近景の雲も画面の奥行きを強調する良い働きをしています。

優秀賞

9・10月
ゆっぴりの朝

東京都/斉藤 正彦さん



平嶋先生

朝の陽光をうけて、放牧された牛が「ゆっぴり」と草を食べています。左の大木のシルエットが画面に立体感をあたえ、紅葉する枝がさりげなく季節感を表しています。逆光の撮影ですが、朝霧に濡れた草原の雰囲気もいいですね。背景の森は白樺林でしょうか。照葉樹林を切り開いた牧場とみられますが、思わず訪れてみたくなる旅心を誘われる作品です。

表紙に掲載した写真

※入賞作品を除く



- ① DuskTime
京都府/ペンネーム・koheheiさん
(撮影地/ポルトガル・ポルト)
- ② 礼文島のハイキング
群馬県/山口 信敏さん
(撮影地/北海道・礼文島)
- ③ 色彩の乱舞
兵庫県/ペンネーム・Travel Loverさん
(撮影地/ネパール・ボダナート寺院)
- ④ 真夏の清流
兵庫県/今田 裕さん
(撮影地/鳥取県・木谷沢渓流)
- ⑤ 四季彩の丘の秋
千葉県/ペンネーム・トムスさん
(撮影地/北海道・美瑛町)
- ⑥ 芝桜の丘
神奈川県/伊原木 永二朗さん
(撮影地/埼玉県・羊山公園)
- ⑦ 青の大聖堂
栃木県/ペンネーム・トラベラーさん
(撮影地/カナダ・ノートルダム聖堂)
- ⑧ 伊良部島の夕景
大阪府/ペンネーム・イーサさん
(撮影地/沖縄県・宮古島)

佳作

3・4月



桜と滝

千葉県/堀江 恵美子さん

板見先生

桜だけを主にした作品は数多くありますが、滝との組み合わせはあまり見ません。撮影地は深山幽谷ではないようですが、画面いっぱいに桜の花と枝をあしらい、その隙間から滝と清流を見せる心憎い演出で春の理想郷を再現したことに感心します。

佳作

5・6月



大陸の最西端

千葉県/川崎 寿弘さん

平嶋先生

ポルトガルの大航海時代を代表する詩人カモンエスが「ここに地終わり海始まる」とうたったロカ岬。16世紀、鉄砲を日本にもたらしたのはこの国の人でした。断崖の上に建つ歴史を感じさせる灯台と眼下にひろがる大西洋との対比が素晴らしいですね。

佳作

7・8月



パラソルワールド

東京都/浅田 大志
(アサダタイシ)さん

板見先生

ニースのパカンス風景をユニークな視点で表現した洒落た作品です。ブルーと白が海と空の色に響き合い、楽しい模様が入る人々の気持ちを表しているようです。パラソルを中心に寄せ、その下で思い思いに休暇を過ごす人々の姿を想像させてくれます。

佳作



霧の ノイシュバンシュタイン

千葉県/須藤 美智恵さん

平嶋先生

バイエルン国王のルートヴィヒ2世が建てた世界的に知られるドイツの名城。立ちこめる霧は、狙ったというよりも旅の途中のサプライズでしょうか。前景と背景に針葉樹の森を配置、明暗の対比により、神話的なイメージがしっかりと表現できています。

佳作



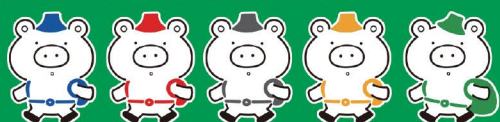
ゆりの咲く丘

愛知県/川合 繁男さん

板見先生

有名な可睡ゆりの園での撮影。広大な園内から、単色のユリ、しかも谷間を選んだことが正解。ユリに包まれた穏やかで香しい空間に踏み込んで行きたい気持ちにさせられます。そんな細やかな心理誘導の行き届いた画面構成が素晴らしいですね。

クラブツーリズムの公式キャラクター「くまぶー」は、旅が大好きな5兄弟。仲良しの彼らを見ていると、思わず旅に出たくなってしまいます！



「旅の思い出」 旅写真大募集

あなたの作品が「旅の友」やカレンダーの誌面を飾ります。旅情あふれる作品をお待ちしております。ご応募いただいた作品は「2020年クラブツーリズムカレンダー写真コンテスト」に自動エントリーされます。

「旅の思い出」旅写真はホームページからの応募が便利です！ クラブツーリズム 旅の思い出 検索